

奈弓連だより

通巻 216号

令和2年2月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

連絡先: henshu@narakyudo.jp

百射会

男子:新子修平選手、女子:小西徳子選手が1位

1月19日(日)、橿原公苑弓道場にて百射会が行われました。参加者52名(男性28名女性24名)が参加されました。時間の都合上60射で矢数制限をかけさせて頂き100射出来ませんでしたが、閉会式にて西中会長より「60射と矢数は減ってしまったが時間に追われず最後まで丁寧に引けたのではないか」と講評を頂きました。

参加者数52名中、44名が完射し、完射率は84.6%でした。途中棄権は8名。結果は次の通りです。

成年男子

1位	新子 修平	(五條)	47中
2位	辻本 元威	(香芝)	42中
3位	宮崎 健二	(生駒)	37中
3位	奥田 章人	(橿原)	37中

成年女子

1位	小西 徳子	(橿原)	31中
2位	衛藤 明美	(橿原)	30中
2位	奥戸 由美	(郡山)	30中

(競技部 乾光孝)

団体選手権大会(兼全日本勤労者弓道選手権大会県予選): 天理大Aチームが優勝

第21回団体選手権大会(兼全日本勤労者弓道選手権大会県予選)が2月9日(日)に橿原公苑弓道場で開催されました。団体(3人)の近的競技に58チーム(170人)が参加しました。今年は暖冬と言われている中、大会当日は小雪が舞う寒い1日でありましたが、多くの選手が参加しました。結果は次の通りです。

予選通過チーム

平城高校(男子)	15中	(植西、中野、松尾)
香芝A	15中	(辻本、岡、西川)
奈良A	17中	(片山、栄島、西田)
高田商業高校(女子)	15中	(都築、今村、柏木)
橿原B	17中	(東中、原田、長濱)
橿原高校(女子)	16中	(水本、早川、中埜)
天理大A	19中	(山崎、清水、芳仲)
五條B	16中	(新子、山城、今西)

決勝トーナメント

- 1位:天理大A(山崎太成、清水千雅、芳仲貴久)
- 2位:橿原B(東中千佳、原田温美、長濱有美)
- 3位:奈良A(片山智子、栄島なるみ、西田ゆり)
平城高校(男子)(植西颯平、中野達也、松尾准)

本大会の結果に基づきシャープ、奈良県立医科大学病院が全日本勤労者弓道選手権大会に出場することになりました。

(競技部 西田ゆり)

中堅層特別講習会

熱心に指導内容に取り組む

1月12日(日)、橿原公苑弓道場にて第三回中堅層特別講習会が開催されました。主任講師:西浦先生、講師:吉本清巳先生、受講生23名でした。

受講生の一手行射に始まり、講師講評、指導部による一つの射礼の模範演武、班別研修、射技研修という内容でした。

一手行射後の講評では、矢番え動作の時左肘を張れており良かったという評価もあったものの、

- ・弓倒し後、肘が後ろに下がっている、拳の位置が違う、弓を持つ手首が曲がっている
 - ・退場で揖をするために方向転換をする時右足を肩に寄せずに先に左足の向きに揃えてから足を寄せる
 - ・大前が間をとって後ろが合わせられるようにする
 - ・四、五段は細かいところを意識して欲しい
- といった指摘がありました。

班別相互研修では、今期三回目の講習会ということもあり受講生同士が活発な意見交換を行いました。積極的だったがために、現象を伝えるというだけにとどまらず指導をしてしまう場面もあり、途中で西浦主任講師から注意が入りました。

講話では、西浦主任講師が弓道を始めた話に端を発し、吉本先生との出会いを通して指導者の重要性についてのお話がありました。

最後の射技研修は二射場に分かれて行われ、受講生各々が講師の指摘事項に熱心に耳を傾けていました。

閉会式では、西浦主任講師より「講習会ですぐに良くなることはないが指導内容に取り組む姿勢が見えた」という講評があり、今年度の中堅層特別講習会が終了しました。

令和元年度は、本研修会の対象者を50歳以下から

60歳以下に拡大し、初参加の受講生も多くおられました。事後アンケートで多くの意見を頂いたので、再来年の内容に反映させたいと思います。来年度は、橿原公苑弓道場の改修工事があり、日程、場所の確保が困難であったため、休止する予定です。

(指導部 佐藤峻/吉本清巳)

橿原神宮建国記念奉祝行事

小笠原の伝統に則り、墓目の儀・百々手式を奉納

1月26日(日)、小笠原ご宗家・若先生をお迎えし、橿原神宮前庭において墓目の儀・百々手式の奉納を執行了しました。

前夜から早朝にかけて雨模様であり、執行できるか危ぶまれましたが、幸い朝には雨が上がりました。設営時には水溜りを避けて場を設定し、的を掛けなければなりませんでした。その後は天候に恵まれ、無事執行することができました。

日記控えに西中正会長、的奉行控えに阪中計夫理事長はじめ連盟会員の皆様にご参加いただき、近畿地域の小笠原門人と総勢52名でのご奉仕となりました。若先生による「墓目の儀」に続いて、前弓射手9名、中弓射手9名、後弓射手9名で「百々手式」による奉射を行いました。

この行事は、昭和42年に建国記念日が制定されたのを機に執行されており、本来は、2月11日に奉納されるものですが、広い場所が必要なこと、参拝者が多く危険があることから、一足早く執行されております。

昭和42年当時は、奈良県弓道連盟会員はほとんど小笠原に入門しており、小笠原行事として執行されたそうです。以来、近畿をはじめ三重、愛知、岐阜、徳島の門人も参加する行事として現在に至っています。奈良県弓道連盟としても、この伝統行事を引き継いでいくために、門人以外の多くの人たちにもお手伝いをいただいております。これからも連盟会員の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。



奉仕の参加者

(奈良支部 深田紀美子)

奈良市武道寒稽古会・参禅会

早朝の冷気の中、集中して弓を引く

1月18日(土)・19日(日)の2日間、ならでん(奈良市)弓道場において、「一般財団法人 奈良市総合財団」主催の第48回奈良市武道寒稽古会・参禅会が行われました。午前5時30分から準備・受付、6時から7時まで5人立ち・一手・座射で稽古を行いました。

初日は開会式の後、各自6射、2日目も各自6射になりました。6時には、お寺の鐘の音が道場に静かに響き渡り、厳かな気持ちになりました。今年は例年ほど寒さが厳しくなかったのですが、射位に入ると明け方の冷たく張りつめた空気が心地よく、集中して稽古することができました。

終了後には、みんなで善哉をおいしくいただきました。参加者は1日目・15名、2日目・20名でした。中高生教室の生徒も参加しました。7月には土用稽古もあります。早起きして弓を引くのは気持ちいいですよ。次回はもっと多くの方に参加してほしいと思います。



張り詰めた空気の中弓を引く参加者

(奈良支部 深田紀美子)

奈良県高等学校新人大会兼学年別弓道大会

西部地区11校、東部地区10校が参加

令和元年度奈良県高等学校新人大会兼学年別弓道大会が橿原公苑弓道場で、西部地区は2月1日(土)に、東部地区は2月2日(日)に開催されました。競技は各自4射・団体12射で競われました。結果は次の通りです。

西部地区(2月1日開催)

参加校: 西の京・登美ヶ丘・奈良北・法隆寺国際・西和清陵・橿原・王寺工業・高田商業・青翔・五條・奈良高専

1年男子団体

- 1位 法隆寺国際A(大塚、尾崎、宇多) 8中
- 2位 高田商業A (渡邊、松本、西川) 7中
- 3位 橿原A (田中、吉岡、山本) 6中
(3位決定は各自1本の競射による)

1年男子個人

- 1位 牧野恵大(登美ヶ丘) 2位 尾崎誉哉(法隆寺国際)
- 3位 西川宗吾(高田商業)

1年女子団体 (2位・3位決定は各自1本の競射)

- 1位 五條B (片山、栢谷、小西) 5中
- 2位 高田商業A (都築、今村、栢木) 4中
- 3位 奈良北B (藤本、眞邊、今泉) 4中

1年女子個人

- 1位 安随舜花(五條) 2位 乾珠双楽(登美ヶ丘)
- 3位 眞邊珠里(奈良北)



1年団体の部で入賞した選手たち

2年男子団体

- 1位 西の京B (大山、中井、青木) 9中
 - 2位 西の京A (奥田、西田、永本、澤) 7中
 - 3位 奈良北B (清水、山口、新山) 7中
- (2位・3位決定は各自1本の競射による)

2年男子個人

- 1位 大山遙人(西の京)、2位 貫山隆人(登美ヶ丘)
- 3位 板垣景虎(王寺工業)

2年女子団体

- 1位 橿原A (柳田、大和田、平松) 8中
 - 2位 西の京B (竹田、望月、鈴木、矢邊) 7中
 - 3位 奈良北B (岡田、平田、高草) 6中
- (3位決定は各自1本の競射による)

2年女子個人

- 1位 鈴木愛(奈良北) 2位 平田陽香(奈良北)
- 3位 松永亜依(西の京)



2年団体の部で入賞した選手たち

3年男子団体

- 1位 奈良高専A (位坂、山田、池田、吉岡) 4中
 - 2位 登美ヶ丘A (広沢、森本) 4中
 - 3位 高田商業A (生嶋、東) 4中
- (1位・2位・3位決定は各自1本の競射による)

3年男子個人

- 1位 山田裕隆(奈良高専) 2位 生嶋祐季(高田商業)
- 3位 仁紙光陽(法隆寺国際)

3年女子団体

- 1位 西の京A (水野、道端、竹谷) 3中
 - 2位 登美ヶ丘A (中島、石田、浅野) 3中
 - 3位 西和西陵A (杉本、泉、森川) 3中
- (1位・2位・3位決定は各自1本の競射による)

3年女子個人

- 1位 竹谷璃恋(西の京) 2位 森川麻穂(西和西陵)
- 3位 紺谷春菜(西和西陵)



3年団体の部で入賞した選手たち

東部地区(2月2日開催)

参加校： 奈良・平城・奈良大附属・郡山・磯城野・畝傍・桜井・橿原学院・榛生昇陽・大宇陀

1年男子団体

- 1位 平城A (中村、武本、中野) 8中
 - 2位 榛生昇陽A (高木、岩井、岡本) 6中
 - 3位 畝傍A (仲川、横矢、松室、西田) 6中
- (2位・3位の決定は各自1本の競射による)

1年男子個人

- 1位 武本快斗(平城) 2位 岩井隆成(榛生昇陽)
- 3位 田中琉樹(畝傍)

1年女子団体

- 1位 奈良A (高間、阪本、谷口) 9中
 - 2位 郡山A (小谷、馬原、磯橋) 9中
 - 3位 畝傍C (竹本、岡田、長野) 6中
- (1位・2位の決定は、各自1本の競射による)

1年女子個人

- 1位 磯橋菜生(郡山) 2位 小谷花野子(郡山)
- 3位 高間朱里(奈良)



1年団体の部で入賞した選手たち

2年男子団体

- | | |
|------------------|----|
| 1位 奈良A(植田、鈴木、竹中) | 8中 |
| 2位 平城C(森川、柳田、藤井) | 7中 |
| 3位 平城B(寺田、井岡、葛野) | 6中 |

2年男子個人

- | | |
|-------------|-------------|
| 1位 柳田航(平城) | 2位 植西颯平(平城) |
| 3位 植田力斗(奈良) | |

2年女子団体

- | | |
|---------------------|----|
| 1位 奈良A(徳田、神尾、中野) | 8中 |
| 2位 郡山A(北川、古谷、落合) | 7中 |
| 3位 畷傍A(三浦、大枝、谷口、磯田) | 6中 |
- (2位・3位の決定は各自1本の競射による)

2年女子個人

- | | |
|-------------|-------------|
| 1位 北川瞳未(郡山) | 2位 中野愛那(奈良) |
| 3位 村上莉菜(奈良) | |



2年団体の部で入賞した選手たち

3年男子団体

- | | |
|-------------------|----|
| 1位 榛生昇陽A(城本、中島、乾) | 5中 |
| 2位 磯城野A(平嶋、西浦) | 3中 |
| 3位 なし | |

3年男子個人

- | | |
|---------------|-------------|
| 1位 乾督孝(榛生昇陽) | 2位 西浦初(磯城野) |
| 3位 城本大輝(榛生昇陽) | |

3年女子団体

- | | |
|------------------|----|
| 1位 桜井A(西尾、河野、岩本) | 1中 |
| 2位 平城A(南井、三橋) | 1中 |
| 3位 榛生昇陽(井阪、新字) | |
- (1位・2位・3位の決定は、各自1本の競射による)

3年女子個人

- | | |
|-------------|-------------|
| 1位 植木鈴華(郡山) | 2位 南井希穂(平城) |
| 3位 岩本侑果(桜井) | |



3年団体の部で入賞した選手たち

(高体連 藤村 佳照)

中学冬季強化練習

模範演武の見取り稽古はとてよい刺激に

2019年12月7日、14日、21日、2020年1月11日に中体連主催の中学冬季強化練習会を県連指導部と強化部の先生を講師に招いて行いました。審査を不安なく受けられる体配や射技の習得のために、吉本指導部長の綿密な計画で練習会を進めていただきました。

特に中学生にとってなかなか一般の高段者や国体選手の手を見る機会がないため、模範演武の見取り稽古はとてよい刺激となりました。生徒からは「矢の速さや飛び方も自分とは比べものにならないぐらいすごくて、とてもおどろいた」、「一つ一つの動作をていねいにされていて参考になった」、「胴が全然動かず、十文字がそろっていてとてもきれいだった」、「座射で疑問に思っていたことも、模範演武を見て解決することができた」という感想がありました。射技・体配研修では、普段意識していないところを知ること、今後の課題ができたり、入退場で曖昧だった部分に分かることで、自信につながったりしたようでした。また、「矢取りの時や弾を付ける準備等をもっと素早くすれば、さらに多くの時間を練習に使うことができた」という今後の練習の取り組み方につながるような反省もあり、技術面だけでなく得られるものが多い大変充実した練習会となりました。

一般の方の姿勢や動作、特に呼吸、目遣いを見せていただくことは、生徒にとって「あのようになりたい」という理想像や目標ができたと思います。同時に、私自身、今まで以上に弓を引く姿を生徒に見せたり、自分でも引いて感じたことを生徒に教えたりしなければと気持ちが引き締まった強化練習会でした。



射技指導を受ける生徒たち

(中体連 藤井久美子)

編集 | 後 | 記

中学冬季強化練習の報告を読み、改めて最初から正しい射法を習得することが大切と思いました。射学正宗に「正しい射法を学ばないで無闇に射る者は、これは射法を学ぶのではなくして、とんだ病癖を学ぶことになるのである。(中略)その悪癖が奥深く沁み込み—」という言葉があります。自らの稽古の在り方を振り返り、反省しました。

編集担当 野尻賢司